

| 職種  | 今回の感想  | 次回希望テーマ  | 自由記入欄                    |
|-----|--|--|--------------------------|
| 医師  | 多職種で協議ができ、他の職種の業務の内容がよく分かり非常に良かった。また参加させて頂きたい。   | 在宅での栄養のとりくみ  |                          |
| 看護師 | 楽しく参加できました。  |  |                          |
| 看護師 | 多職種が集まり、HP・在宅の視点から話し合いができてよい体験となりました。今自分のみている事だけでなく、今後のその人の生活をみすえたケアを考える機会となりました。                            |  |                          |
| PT  | 褥瘡や摂食について、再度考えるキカイになった。  |  |                          |
| 保健師 | 具体的な事例も示して、とても説得力のある内容でした。車イス・クッションの体験もさせていただいてとても良かったです。最新の状況をきくことができました。グループワークで、みなさんのリアルな介護の状況もきけて良かったです。 |  | チョコありがとうございました。ほっこりしました。 |
| PT  | シーティングの再勉強になってよかった。Dr・PT・OT・ST・歯科衛生士といった多職種の話ができて良かった。   |  |                          |
| 医師  | シーティングの重要性を聞くことができ大変役に立ちました。車イスの進化に感心しました。   |  |                          |
| 医師  | 何回聞いても勉強になる。ティルトリクライニングを体験できて良かった。   | 退院調整   |                          |
| OT  | 様々な職場・職域の方と接することができて良い機会となりました。  |  |                          |
| 医師  | 「すべり座り」という言葉や、尾骨・仙骨の褥瘡の違いについて初めて知りました。GWはやや話題にかたよりがありました。  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・精神科訪問看護</li> <li>・歯科の在宅医療</li> </ul> |                          |
| 医師  | フレイル予防の点についても、すわることや入れ歯の管理も大切だなと考えました。   |  |                          |

| 職種    | 今回の感想   | 次回希望テーマ            | 自由記入欄 |
|-------|---|--------------------|-------|
| 看護師   | シーティングについて学ぶことが出来ました。ティルト・リクライニング車椅子の動画では、口を開ける・閉じれるの比較で角度挙上だけが問題でないことを知りました。今後の患者様との関わりに生かしていきたいです。ありがとうございました。          |                    |       |
| PT    | 短時間の講義でしたがとても濃い内容だったと思います。  |                    |       |
| 歯科衛生士 | 座ることの重要性再確認しました。  |                    |       |
| PT    | シーティングの大切さを改めて感じた。リハ職から他職種へ、また、利用者・家族へ働きかけて行く必要性も強く感じた。褥瘡についても、しっかりと評価し、いつ、どの姿勢が影響しているのかに合わせて対応していきたい。                    |                    |       |
| 介護福祉士 | シーティングの重要性をあらためて実感しました。グループワークも色々な話しが聞けて良かった。ありがとうございました。   |                    |       |
| 看護師   | シーティングの知識を得ることが出来ました。除圧方法、新しい車椅子の機能を知る機会となりました。   |                    |       |
| 介護員   | 職種の違う方々ばかりで少しとまどいしましたが、楽しかったです。又来たいです。  |                    |       |
| 看護師   | 座学では解剖学や褥瘡について改めて勉強し直す事が出来ました。グループワークでは病院では道具などの設備やスタッフの人員も豊富だが、在宅では何にもお金がかかるし、道具もない、専門スタッフもいないところでどうして対応するかを話し合う事が出来ました。 | 在宅生活を支えるために日々出来ること |       |